

第 22 号

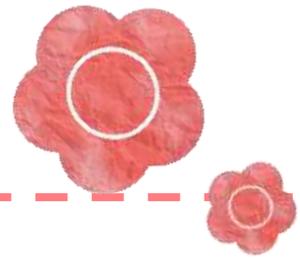
タ ブ ラ ラ サ
Tabula  rasa



” タブラ・ラサ ” は 「白紙」 という意味で、社会契約説で有名な John Locke の思想です。Locke は、生まれたとき人の心はみな 「白紙」 である。そこに、経験によって様々な観念が書き込まれると考えていました。図書館が心の白紙に色をつけ、さらに塗り替える場となればという学生の夢から、このように名づけられました。

梅光学院大学図書館サポーター広報誌

目次 [CONTENTS]



- 1 P 目次
- 2 P あいさつ 図書館サポーターについて
- 3～6 P 活動紹介
- 7～ 8 P 行事スケジュール
- 9～10 P 4年生から
- 11 P 編集後記

ライフリア 13 世

図書館サポーターのマスコットキャラクター。
ライフリアン星からやって来た、ライフリアン人たちの偉大なる王…らしいが詳細は不明。本が好き、本を読む人が好き、図書館大好きな小さい謎のおじさん。(全長 30 cm)。本を愛する人たちに、新たな知識と感性を特殊暗号電波で与えてくれる…かも？



ご挨拶

この度は本誌を手にとっていただき誠にありがとうございます。第22号では、2017年度の活動の一部を掲載しております。この年は開学50周年ということもあり、開学記念を盛り上げるためのイベントに力を入れてきました。

この本を読むみなさまが、図書館サポーターに興味を持っていただければ幸いです。

図書館サポーターとは

学生目線で図書館をより良くしていこうと活動する梅光学院大学のボランティア団体です。

POP（書店や図書館などに並べられている棚にキャッチコピーやイラストを載せた広告）を作ったり、オープンキャンパスで大学図書館の案内をしたり他にも図書館に関わる様々なことに取り組んでいます。

活動は年々変化します。新しいことに挑戦していくとともに、利用者一人一人が居心地の良い図書館だと感じていただけるよう日々努力しています。

理念

図書館と人を育てる

目標

図書館や大学の役に立つ

活動を通して成長を目指す

隣人を自分のように愛す

(マルコによる福音書12章31節より)

🌸活動紹介

シェイクスピア劇がやってくる！

開学50周年に向けて本格的な劇団を招き、『十二夜』を観劇するイベントを盛り上げるためのシェイクスピアウィークが始まりました。私たち図書館サポーターは、劇が終わってもイベントの余韻を楽しんでもらうために「シェイクスピア棚づくり」と「シェイクスピア限定ビブリオバトル」を計画しました！



2017. 03. 30～31 シェイクスピア限定の本棚・POPづくり



まずシェイクスピアにどんな作品があるのか・シェイクスピア作品を別の視点から見たものもあることを知ってもらうために、本棚を作りました。

現代語訳本や方言翻訳・シェイクスピア作品を題材にしたノベル小説など様々なものを司書の方に集めていただき、その本に合ったPOPをサポーターが作り本棚に飾りつけしました。

多くの方がシェイクスピアに興味を持つきっかけになったと感じています。また、観劇後も展示を見ることで劇の余韻を楽しんでもらうことができました。

2017. 05. 31 シェイクスピア限定ビブリオバトル

劇も終わり、満を持してビブリオバトルを開催！教室には席が埋まるくらいの方が集まりました！発表者はサポーターメンバーも含め5人。『ロミオとジュリエット』や『ハムレット』などのメジャーな作品から、『ロミオとジュリエット』をモチーフとした英語の漫画作品、シェイクスピア作品内で用いられた小道具に関する解説本など、様々な本が並び、それぞれが本に対する熱い思いを語ってくれました！

2017. 06. 08～ チャンプ本の展示

イベントの様子を伝えるために、展示も行いました。小さい展示でしたが、学内だけでなく、オープンキャンパスで多くの高校生も興味を持ってくださいました。



図書館サポーターによる『棚作り』

これまで月ごとのイメージで手掛けていたテーマ棚ですが、図書館サポーターの提案などにより徐々に新しい広がりを見せています。梅光に努める先生方からおすすめの本を募って展示したり、図書館の代名詞とも言える「十進分類法」から各区分をテーマにしてみたり。

より多くの学生が様々な本に興味を持ってくれたら嬉しいです。

2017. 09. 05～06

第7回大学図書館学生協働交流シンポジウム in 愛媛



愛媛大学にて図書館シンポジウムが行われました！今年のテーマは「図書館がきりひらく航路（ミライ）ー悩み解決・つながり強化ー」です。一日目には他大学と交流し、各大学の悩みを持ち寄り、学生同士や教員同士で解決策を話し合うワークショップを行いました。

2日目には「理想の図書館のために〇〇します！」というテーマでポスターセッションを行いました！私たちは「多くの人が利用し楽しめる図書館」を目標に、先生のおすすめ棚の作成企画を発表しました。他大学の活動も個性的でとても勉強になりました！

2017. 11. 30 「絵巻の楽しさを語る会」をお手伝い

図書館では、田口寛先生による「絵巻の楽しさを語る会」を企画しました。図書館サポーターはその運営をお手伝いしました。絵巻は博物館などでよく見かけますが、実際に詳しいことはよく知りませんでした。

田口先生はまず絵巻の基礎的なことを教えて下さり、それか様々な絵巻をスクリーンで投影し、さらに、実物の絵巻を観察してより理解を深めることができました。日本文化に興味を持つ良いきっかけになったと思います。



2017. 11. 07～08 第19回図書館総合展



パシフィコ横浜で行われた「第19回図書館総合展」に参加しました。たくさんのプログラムの中で「第2回全国学生協働サミット」というプログラムに参加し、プレゼンテーションとポスターの展示を行いました。

プレゼンテーションの内容は「今年の活動報告」で、プレゼンテーションに使うスライドとポスターにはPOP

棚作成などの普段の活動や春に主催したシェイクスピア限定のビブリオバトル、9月に参加した学生協働交流シンポジウムのことを掲載しました。当日まで時間の余裕がない中、ポスター作成とプレゼンテーションの打ち合わせに全員で協力し、どちらも完成度の高い内容になったと思います。

二日目に参加したフォーラム&交流会では埼玉県の十文字学園女子大学のライブラリーサポーターの方々とより深い交流ができ、今後は交流や企画のコラボなどを計画していきたいという話をし、とてもいい経験になりました。図書館総合展でいただいたたくさんの意見を参考に、これからはより活動の幅を広げていきたいと思います。

2017. 11. 11～11. 12 第16回ルーキス祭

ルーキス祭では昨年に引き続きチュロスを販売しました。

シフトを作り、調理と販売に分かれ連携をとるサポーター一同。楽しみながらの出店で見事用意していた全てのチュロス売り切ることができました。

美味しいチュロスを作った調理さん、冷めないようテントまで駆け足で届けてくれた運搬さん、盛り上げ上手な接客販売さん。そしてもちろんチュロスを買って下さった方々にも多大な感謝を。全員で作らあげたルーキス祭でした。次回も楽しい出店にしたいです。



2017. 12. 12 クリスマスツリーの設置



グループ学習フロア横にクリスマスツリーを設置しました。図書館利用者が本を選ぶ際に、季節感というものも大切なものです。去年と比べ飾りも設置に参加してくれるメンバーも増えたため、とても賑やかに楽しく設置することができました。

2017. 10. 16～ ブログ再開

更新が少し滞っていたブログを新たに稼働しました。

活動ごとに担当を割り振って、ブログの更新をしています。まだまだ記事は少ないですが、いずれ多くの人に見てもらえるようこれからどんどん記事を増やせていければと思います。

ブログはこちらから！→<https://ameblo.jp/baiko-tosapo/>



2017 Calendar

1

Jan.

- ・テーマ棚作成（十進分類）



2

Feb.

- ・学内ファシリテーター研修に参加



3

Mar.

- ・シェイクスピア劇の上演に向けて宣伝棚づくり



- ・ミニビブリオバトル開催
- ・新入部員募集

4

Apr.

- ・シェイクスピア限定ビブリオバトルを開催

5

May

- ・オープンキャンパスの手伝い
- ・新入生歓迎会
- ・テーマ棚作成（十進分類）

6

Jun.



7
Jul.

- ・オープンキャンパスの手伝い
- ・シェイクスピア限定ビブリオバトルの棚作成



8
Aug.

- ・オープンキャンパスの手伝い
- ・第7回大学図書館学生協働交流シンポジウムのためにポスター作成



9
Sep.

- ・オープンキャンパスの手伝い
- ・第7回大学図書館学生協働交流シンポジウムに参加



- ・第2回全国学生協働サミットに向けて資料作り
- ・先生のおすすめ棚づくり開始
- ・ブログ再開

10
Oct.

- ・オープンキャンパスの手伝い
- ・LUCIS祭参加
- ・図書館企画「絵巻の楽しさを語る会」のお手伝い
- ・パシフィコ横浜で行われた第19回図書館総合展内での企画「第2回全国学生協働サミット」に参加

11
Nov.



- ・オープンキャンパスの手伝い
- ・図書館にクリスマスツリーの設置
- ・学内ファシリテーター研修に参加

12
Dec.



最後まで読んでいただき誠にありがとうございます。1年間部長を務めさせていただいた原です。

始めは本や図書館が好きというだけで、このサークルに興味を持ち入部しました。入ってみると何をすればいいのかわからず戸惑うこともありました。しかし、2年の後半に入ってから活動に積極的に参加することで、自分がしたいことすべきことを少しずつ把握できるようになりました。

部長になってさらに忙しくなり多くのイベントに参加すると、沢山の方と関ることができ、世界が開けたと感じています。入部してから最後まで、沢山の人に支えられて図書館サポーターに関われたことをとてもうれしく思います。

これからも後輩たちがしたいことに挑戦して、新しい喜びを見つけていけるよう願っています。

原 知里

図書館サポーターってなんだろう、とぼんやりした動機で戸を叩いた活動でしたが、結果的に参加して良かったなと今しみじみ感じています。私自身なかなか胸を張れる働きも少なかったように思いますが、本という共通の意識を中軸に、同じサポーターの先輩や後輩たちと頭を悩ませ、手を動かしていくことは本当に良い経験となりました。

たかがポップ、されどポップ。本の魅力を一つ伝えるのもなかなか難しかったですね。

日々水面下で創意工夫を続ける図書館サポーター。その活動が今後さらなる活気を帯び、一段とアクティブになるよう、引退しても卒業しても応援しています。

大津野の花





図書館司書資格を取るついでにと軽い気持ちで図書館サポーターに入りましたが、実際に活動に参加してみて、棚作りやイベントの参加など思っていた以上に図書館は利用できる幅が広いんだと気づくことができました。

私自身が他にサークルなどに所属していなかったこともあり、図書館サポーターで先輩・後輩という関係を身近に感じることができました。去年卒業された先輩方も後輩たちもしっかり者が多くて、初めて参加する活動でも逆に私が支えられることが多かったです。

図書館サポーターのみんなと活動することはとても楽しかったし、いい経験ができました。後輩たちはこれからもっともっと経験して楽しんでくれるといいなと思います。今後も図書館サポーターで培った経験を活かして頑張ります。ありがとうございました。

木原 奈実

私は読書が好きというだけで図書館サポーターに参加しましたが、振り返ってみれば思っていたよりも人と関わる状況にいたことが多かったように思います。自分だけでは絶対に参加しなかつたであろう行事などにも参加することができ、とても良い経験となりました。

また、「どうすれば図書館に興味を持ってもらえるのか」、「どうすればこの本を手にとってもらえるのか」など、今まで経験したことのない要領でのアイデア出しなど、新しい経験もたくさんできました。

図書館サポーターで得た経験をこれからの人生に還元していけたらと思います。



薄墨 典子

編集後記

まずは、「Tabula・rasa」を読んでいただき誠にありがとうございました。

「Tabula・rasa」の製作にあたり、今迄の活動から自分を、そして組織としての図書館サポーターを客観的にみることが出来ました。皆様が図書館サポーターを気にかけて支援してくださったことによりこうして様々な活動が出来ました。この場を借りてお礼を申し上げます。

私たちはこれからも活動を続け成長していくと思います。今後とも図書館サポーターを見守っていただけると幸いです。皆様のお声をぜひ、図書館サポーターにお聞かせください。

梅光学院大学図書館サポーター広報誌

「Tabula・rasa」第22号

発行日：2018年8月28日

編集：梅光学院大学図書館サポーター

発行：梅光学院大学図書館サポーター